

市長の ふれあい訪問

●今回の訪問先●
「川口第九を歌う会」

川口総合文化センター・リリアで第九を歌おうと昭和63年12月に設立。翌年4月に高橋誠也氏を講師に迎え幸町小学校で練習を開始し、平成2年のリリア開館以来、毎年年末に開催される第九演奏会の合唱を担うほか、毎月第2、第4日曜日に小学校で練習を重ね、隔年で自主演奏会も開催している「川口第九を歌う会」のみなさんを岡村市長が訪問。活動内容や「第九」の魅力などを聞きました。



市長 みなさんこんにちは。いよいよ12月です。終わりよければすべてよしという言葉もあります。しっかりと今月を乗り切って新年を迎えたいと思います。

今月の市長のふれあい訪問は、「川口第九を歌う会」のみなさんです。どうぞよろしくお願います。はじめに伺いますが「川口第九を歌う会」の設立はいつですか。

太田 昭和63年12月です。

市長 リリアができる2年前になりますか。

加藤 そうです。リリアができるときに、みんなで「第九」を歌おうということで設立しました。**市長** 年末に、毎年「第九」を歌っているのですよね。今年で何回目になりますか。

角 今年の公演で22回目になります。

市長 角さんはご夫婦で参加されていると伺いましたが。

角 はい。主人も歌うことが好きだったので、設立当初から2人で参加しています。途中母の



介護のため山口県に移りましたが、月に1回は練習に通い、介護している自分へのご褒美にしました。**市長** みなさん本当に「第九」がお好きなのですね。魅力は何ですか。**中尾** 第3楽章が終わって、「合唱が始まるぞ」という高揚感が何とも言えません。歌詞の内容も全世界に向かい平和になろう、仲良くやろうと語っているような気がします。**森田** 人間愛にあふれたシラーの詞がすごくいいですね。**市長** いい詞ですよ。この会も20年以上続けてこられてご苦労もあつたのではないですか。**加藤** 苦勞よりも、川口で「第九」を歌うことができたというのが一番うれしかったですね。もう一つは、「第九」を歌いたい人が毎年50人くらい入会し、ど

んどん会員が増えることがうれしいです。みなさん一度は「第九」に挑戦したいと考えているみたいですよ。**市長** 「第九」を軸にして市民の輪が広がるというのはいいですね。今、会員は何人ですか。**太田** 240人くらいになります。**市長** 年末の「第九」以外にも活動されているそうですが。**森田** 2年に1回自主公演を行っています。2年間かけて大作に挑戦しています。**市長** 2年間も練習するのはすごいですね。これまでどのような曲に挑戦したのですか。**森田** ヘンデルの「メサイア」やブラームスの「ドイツ・レクイエム」に挑戦してきました。**市長** 指導はどなたがされていますか。**中尾** 指揮者の高橋誠也先生に設立当初から指導していただいています。ほかに芸大の若い先生たちが情熱的に指導してくれます。**市長** やはり指導者というのは大事ですよ。海外でも公演されたと聞きました。**角** ポーランド、スペインなどに行きました。**太田** 今年の「真夏の第九」の公演では、ドイツから演奏家の方に来ていただいたので、来年は私たちがドイツに行きます。**市長** そのほかの活動はいかがでしょう。**中尾** 懇親のためにバス旅行を企画したり、教養講座を開催し



たりしています。合唱は一人で歌うものでなくみんなで歌うものなので、交流をとおして理解し合うのは大事だと思いい、そのような機会を設けるようにしています。

市長 それはよいことですね。それでは今後の活動予定などをお聞かせください。

太田 今月17日の土曜日に、川口総合文化センター・リリアで秋山和慶氏指揮、東京交響楽団と共演し、「リリア第九の演奏会」が開かれます。一人でも多くの方に演奏会に来ていただき、楽しんでいただければと思います。また、男性会員が少ないので、一緒に歌っていただける方をお待ちしています。

市長 今年も感動のステージを楽しみにしています。頑張ってください。今日はありがとうございました。